

令和2年度多職種連携会議開催報告

【花見川区】

日時：令和3年3月17日（水）

事例：コロナ下の入退院支援
について

参加：23名

形式：オンライン（ZOOM）

令和2年度 第1回 花見川区多職種連携会議	
令和3年 3月17日(水) 19:00~20:00	
19:00	会議開始
19:05	事例紹介
19:10	グループワーク開始
19:45	発表
19:55	講評・挨拶(武藤・坂口先生)
20:00	終了

〈抽出された課題〉

新型コロナの影響により、病院が面会を制限しなくてはならない状況となり、退院する利用者の情報を得られないケアマネジャーの視点で事例を紹介しました。

コロナ下で、どのように入退院時の医療・介護連携を図っていくかということが、収束を見せない新型コロナウイルスの影響下で、医療・介護専門職間の課題として認識されました。今後は、オンラインによる連絡体制や、感染症対策の徹底などの取組が必要であるとの意見が出ました。

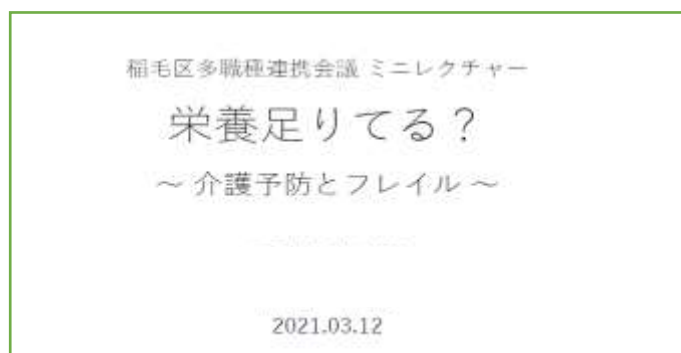
【稲毛区】

日時：令和3年3月12日（金）

講義：低栄養に関するミニレクチャー
グループワーク

参加：51名

形式：オンライン（ZOOM）



〈抽出された課題〉

新型コロナの影響により、高齢者の介護予防やフレイルが懸念される中、健康の基本である栄養について、医師・栄養士より講義をいただきました。

在宅生活において、低栄養の改善と介護予防・フレイル防止の関係性の視点の重要性について、気づきを得た内容となりました。

【若葉区】

日時：令和3年3月19日（月）
講義： コロナ罹患後の在宅での対応
参加：49名
形式：オンライン（ZOOM）

若葉区多職種連携会議
コロナ罹患後の在宅での対応

〈抽出された課題〉

新型コロナ下で、感染し入院した患者の退院に際し、発症後10日間の退院基準が示されていますが、その後を担当する介護事業者から、不安が大きいとの声が挙がっています。これを受け、若葉区が多職種連携会議では、実際に医療の現場でどのような治療体制がとられているか等、病院の感染症対策の看護師から講演いただきました。病院のコロナ対応の実情を知ることで、医療と介護の専門職間の相互理解を深め、連携を強化することにつながる会議となりました。

【緑区】

日時：令和3年2月24日（水）
意見交換会
コロナ禍出の活動の振り返り
参加：32名
形式：オンライン（ZOOM）

令和2年度第一回緑区多職種連携会議

日時：令和3年2月24日（水） オンライン
意見交換
「コロナ禍における医療現場や各専門職の活動を振り返って」

〈抽出された課題〉

コロナ対応に追われた1年を振り返り、参加した専門職から報告していただきました。相談対応時の感染症対策、患者・利用者の受け入れに十分な注意をしていたことなど、各機関・事業所で手探りながら対応してきた実態が明らかになりました。今後も、このような意見交換の場を作り、困りごとや相談したいことなどを伝えられることが必要であるとの課題を得ました。また、緑区で初めて大々的に実施された、オンラインによる多職種連携会議では、このような方法もあるとの認識を共有できました。

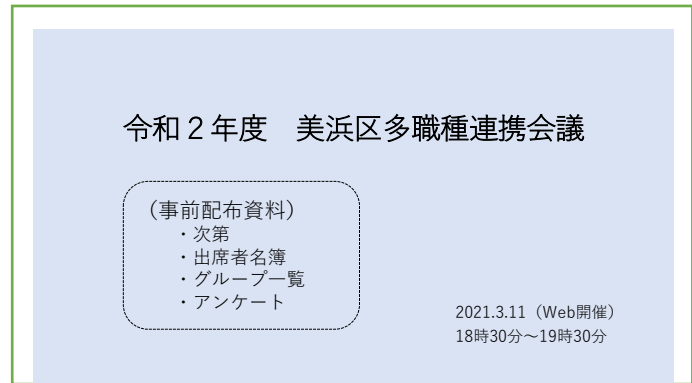
【美浜区】

日時：令和3年3月11日（木）

事例紹介：サービス利用者の
コロナ発覚後の対応

参加：31名

形式：オンライン（ZOOM）



〈抽出された課題〉

サービスを利用していた利用者が、新型コロナに感染してしまい、判明してから、外部への対応や感染症対策、従業員に対するケアなど、苦労があった点について報告いただきました。

このことは、全事業所で起こりうることであり、参加者全員が他山の石とすることが重要になるということを共有しました。

また、オンラインを介して、専門職種での意見交換を行い、「これまで」と「これから」のコロナ対策についてディスカッションしました。